

栄養不足の危険！穂肥は確実に施用しましょう！

- ・ 茎数が多かったため、葉の色が急に淡くなっています。
草丈は目標値と同等ですので、穂肥は施用出来る稲姿です。
- ・ コシヒカリの出穂期は「平年並み」と予想され、5月10日植えて8月8日頃の見込みです。

1 7月9日現在のコシヒカリの生育状況（拠点ほ場9か所の平均）

- 茎数は多。葉数から生育の進みは目標値並み。

		本年値 (分施体系)	前年値 (前年比・差)		目標値 (カレンダー生育目標値比・差)	
草丈(cm)		65	64	(102%)	63	(103%)
茎数(本/m ²)		589	530	(111%)	480	(123%)
葉数(葉)		11.0	10.5	(+0.5)	11.0	(±0.0)
葉色	SPAD値	37.2	37.4	(-0.2)	36.0	(+1.2)
	葉色板	4.0	4.0	(±0.0)	3.9	(+0.1)

2 コシヒカリの管理ポイント

(1) 分施体系の穂肥

- ア 有機入り肥料の場合は「出穂期 20 日前」と「その 7～10 日後」に、窒素成分で 1kg/10a を目安に施用しましょう。
- イ 幼穂長を必ず確認し、適期に施用しましょう。
- ウ カラースケールで 4 以上など葉の色が濃いほ場では、「出穂期 20 日前」の穂肥は控えめとし、「7～10 日後」の穂肥は必ず施用してください。
- エ 詳しくは佐渡米カレンダー 7 月の「コシヒカリ 1 回目穂肥施用のめやす」を参照してください。

(2) 全量基肥肥料(一発肥料)体系の追加施肥

出穂期 10 日前の葉色が著しく低下している場合(葉色板 3 以下、SPAD 値 30 以下)の場合は、「出穂期 10 日前頃から 5 日前頃」に有機 100% (味好 2 号等)を 15～20kg 程度/10a 施用しましょう。